

24年度概算要求・要望における災害対処能力の向上

東日本大震災の教訓を踏まえつつ、原子力災害を含む様々な大規模・特殊災害等に迅速かつ適切に対応し、国民の人命及び財産を保護するため、各種装備や訓練の充実を図る。

<要求・要望全体の事業>

●原子力災害などの特殊災害における能力の充実

- ・NBC偵察車、CBRN脅威評価システム技術の研究
- ・個人用防護装具、化学防護衣
- ・線量計、携帯除染器、新線量率計セット



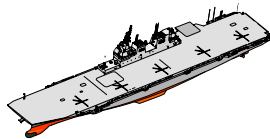
●被災時の自衛隊航空機による輸送力の強化

- ・被災地への救援物資等の迅速かつ安定的な輸送
- 次期輸送機(C-2)の取得



航空輸送力を支える事業

- ・孤立地域に対するヘリコプターを活用した物資輸送
- 護衛艦(DDH)の建造
- 輸送ヘリコプター(CH-47JA)の取得
- 掃海・輸送ヘリコプター(MCH-101)の取得



●部隊展開後の通信能力の向上等

- ・新野外通信システムの取得

●救助活動その他の災害救援活動

●原子力災害を含む災害に対応する訓練等

- ・自衛隊統合防災演習等
- ・原子力災害その他の災害への対応を強化するための災害対処訓練
- ・放射線関連講習の受講
- ・上記のほか、各種演習など

●その他の人的側面等の充実

<要望事業>

原子力災害への対処能力の向上に係る事業を要望事業として計上(24年度に予算措置されるもの)

- ・NBC偵察車、個人用防護装備
- ・化学防護衣、線量計、携帯除染器

多くの装備品については、取得までに数年間を要し、後年度に支出。単年度で取得可能な事業について要望事業として計上

- ・飛行場で使用する車両、発動発電機

- ・人命救助システム
- ・施設器材用タイヤ、車両用付属品等

- ・災害対処訓練
- ・放射線関連講習の受講



災害への対処能力の向上に資する事業について

原子力災害等の災害への対処能力を向上するための装備品等（NBC偵察車、化学防護衣、線量計等）の整備や災害対処訓練等の事業（約97億円）

○東日本大震災において、自衛隊は、10万人規模の態勢で、被災者の救援や原子力災害への対応に従事。こうした活動を通じて、国民の安心・安全に寄与。

○原子力災害への対応は、自衛隊にとっても経験したことない困難な状況の中での活動。線量率計等の装備品が現場で不足する等の事態も生起。東日本大震災で得た様々な教訓を踏まえ、原子力災害を含む大規模災害等に迅速かつ適切に対処することが必要。



NBC偵察車



**個人用防護装備及び
化学防護衣**



個人用防護装備



化学防護衣

線量計3形及び線量計用計測器



線量計3形



線量計3形用計測器

災害等対処訓練



高濃度汚染地域で活動する隊員保護に必須

放射能汚染地域の隊員の被曝線量測定に必須

災害派遣訓練用資材等の経費

災害への対処能力の向上に資する事業について

原子力災害等の災害への対処能力を向上するための装備品等(NBC偵察車、化学防護衣、線量計等)の整備や災害対処訓練等の事業

NBC偵察車



数量	金額(千円)	23'末までの契約数/調達予定総数
2両	1,447,285	14/約50

配備先:化学科部隊

主要諸元

- 全長: 約7.4m
- 全幅: 約2.5m
- 重量: 約19.6t
- 検知・識別・測定性能
 - ・ 線、中性子線の測定
 - ・ 生物剤の検知・識別
 - ・ 気状・液状有毒化学剤の検知・識別・測定

災害への対処能力の向上に資する事業について

原子力災害等の災害への対処能力を向上するための装備品等(NBC偵察車、化学防護衣、線量計等)の整備や災害対処訓練等の事業

個人用防護装備及び化学防護衣



個人用防護装備



化学防護衣

個人用防護装備

数量	金額(千円)
16,809	3,254,323

23'末保有数/定数

約10.5万/約16万

配備先:全隊員

主要諸元

防護マスク
顔を覆い、有毒化学剤等が目及び呼吸器から身体へ侵入するのを防止

○防護衣
全身を覆い、有毒化学剤等が身体へ侵入又は付着するのを防止

○重量:約7kg

化学防護衣

数量	金額(千円)
902	161,518

23'末保有数/定数

約0.9万/約1.1万

配備先:
化学特技保有隊員

主要諸元

○素材:合成ゴム引ナイロン布地

○冷却機能:送風装置あり

○重量:約7kg

災害への対処能力の向上に資する事業について

原子力災害等の災害への対処能力を向上するための装備品等(NBC偵察車、化学防護衣、線量計等)の整備や災害対処訓練等の事業

線量計3形



線量計3形

線量計用3形用計測器

線量計3形

数量	金額(千円)	23'末保有数/定数
8,813	78,656	約6.5万/約16万
		配備先:全隊員

主要諸元	○測定性能 ・10Gy※まで測定可能 ○重量:約15g
------	-----------------------------------

線量計3形用計測器

数量	金額(千円)	23'末保有数/定数
22	76,369	約300/約600
		配備先:主に中隊規模の部隊に1個の割合で配備

主要諸元	○測定範囲 ・10 μ Gy~10Gy※ ○重量:約27kg
------	--

※ Gy(グレイ)とは、放射線の吸収線量の単位。10Gyの γ 線を吸収した場合、人体に及ぼす影響を示すSvに換算すると10Svとなり、死亡する確率は100%となる。

災害への対処能力の向上に資する事業について

原子力災害等の災害への対処能力を向上するための装備品等(NBC偵察車、化学防護衣、線量計等)の整備や災害対処訓練等の事業

災害等対処訓練

金額(千円)

610, 378

【事業の説明】

○ 各課目毎の実施概要

・ **災害派遣訓練経費**

災害発生初動時の指揮・幕僚活動、派遣行動のための訓練に必要な資材等の経費

・ **自然災害以外の災害に対応する集合訓練経費**

原子力発電所災害等の自然災害以外の災害対処のための各種講習を受講するための受講経費

・ **災害医療基幹要員集合訓練経費**

災害発生時、限られた人的・物的資源の中で最大の医療効果を得るため、部外医療機関で専門的な救急医療処置技術の習得に必要な受講経費

○ 「各課目のイメージ」

災害派遣訓練経費



自然災害以外の災害に対応する集合訓練経費



災害医療基幹要員集合訓練経費



その他災害への対処能力の向上に資する事業について

災害対処に直接従事する隊員個人の機能発揮に必要な事業 約2億円

災害派遣被服の整備



約0.1億円

災害用消耗品の整備



約0.03億円

装輪車両の充足



約1.7億円

携帯除染器



約0.02億円

防護マスク用視力補助具



約0.6億円

災害関連機材の損耗更新等 約39億円

施設器材用タイヤ等の損耗更新



約2.2億円

人命救助システム I 型 II 型構成品



約0.1億円

車両用付属品の取得



破れた幌



折損した携行工具

劣化したバッテリー

摩耗したタイヤ

約9.5億円

車両更新



トラック21/24×4カーゴ



救護車



トラック4～8トトラクタ(セミトレーラ10t用)



フォークリフト5t

約17.8億円

電源装置等の取得等



発動発電機

無停電電源装置

約7.0億円

松島基地仮設格納用テントの借上げ



約1.5億円

新規施設車両の取得



約0.6億円